

資料配付場所

1. 国土交通省交通運輸記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者

平成26年11月5日
国土技術政策総合研究所

空港滑走路のグルーピングに関する実験のお知らせ

国土技術政策総合研究所空港研究部では、滑走路舗装後、グルーピング切削までの養生期間の短縮を図り航空機の運航効率のより一層の向上に資するため、標記の実験を行っておりますのでお知らせいたします。

グルーピングとは、排水の促進によるハイドロプレーニングの防止や摩擦の増大のため、空港の滑走路の舗装表面に施工される小溝のことです。滑走路は一般にアスファルト混合物を用いて構築されており、ある程度硬化しないと角欠け等が生じる恐れがあるため、舗装完成後、グルーピングの施工まで、ストレートアスファルトで2ヶ月、改質アスファルト*で1カ月の養生期間をおいていますが、この期間を短縮することが課題となっています。現在、短縮の可能性の検討を目的として、養生期間、切削速度を変えた実験を行っています。

この度、実験の状況（養生期間2カ月のグルーピング切削の状況）をご視察頂く機会を下記の通り設けましたので、希望される場合には予めご連絡をお願いします。詳細につきましては次ページをご覧ください。

記

- ・日時：11月17日（月）10：00～12：00
（予定。天候によって変更になる場合があります）
- ・場所：独立行政法人 港湾空港技術研究所 野比実験場
（横須賀市野比3丁目24番1号）

*改質アスファルト：ストレートアスファルトにポリマー等を添加し、耐流動性等を改善したアスファルト

【問い合わせ先】

国土技術政策総合研究所（横須賀）
空港研究部 空港施設研究室
担当：伊豆、森永
TEL：046-844-5034（直通）
FAX：046-844-4471

■ 実験の視察について

視察を希望される場合には、予めご連絡をお願いします。

- 日時：11月17日（月）10：00～12：00
※天候によって変更になる場合があります。
- 場所：独立行政法人 港湾空港技術研究所 野比実験場
野比実験場 横須賀市野比3丁目24番1号



➤ その他

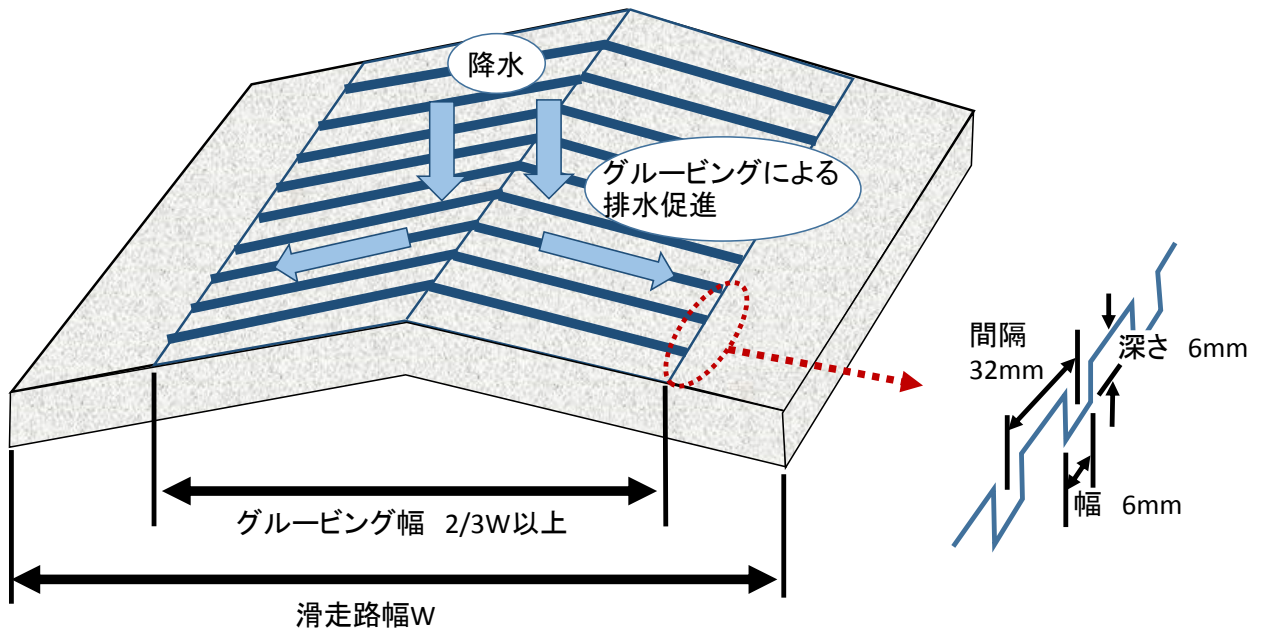
11月17日（月）～11月21日（金）10：00～12：00において、実験前後の舗装の様子を同実験場でご覧頂くことが可能です。ご希望される場合には予めご連絡をお願いします。

■ 空港滑走路のグルーピング

空港滑走路のグルーピング



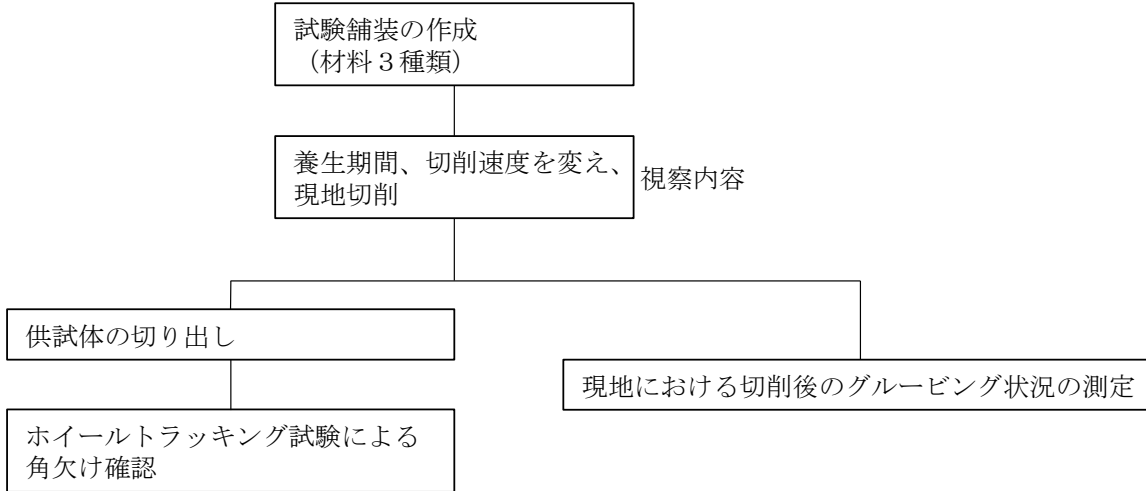
グルーピング施工範囲



グルーピング断面図

■ 実験の概要

実験の流れ



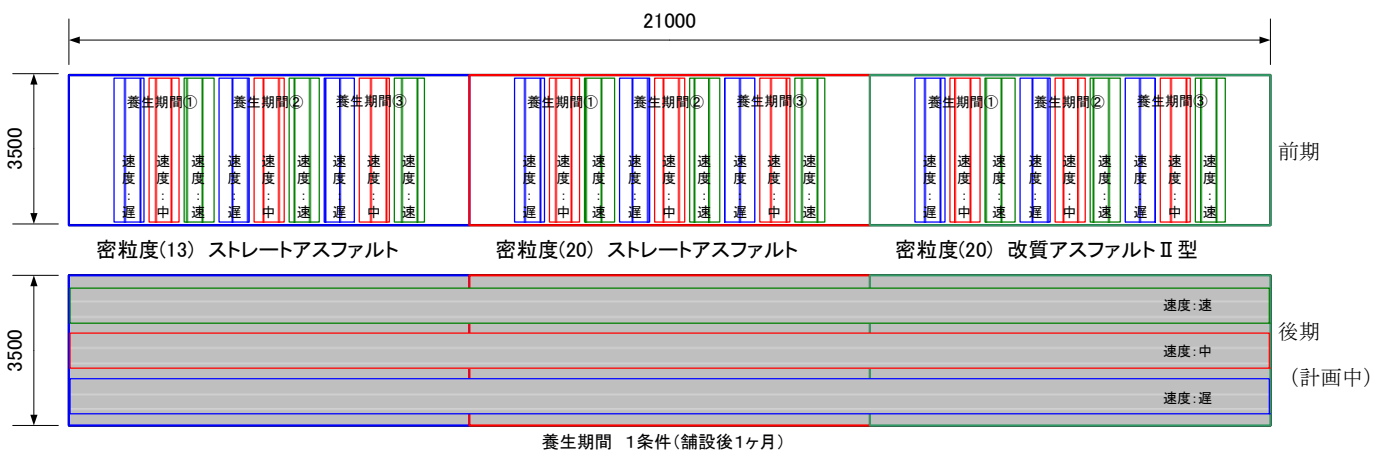
材料・養生期間（前期）

材料	密粒度（13）ストレート アスファルト	密粒度（20）ストレートア スファルト	密粒度（20）改質アスファル トⅡ型
養生期間①	2週間		1週間
養生期間②	1ヵ月		2週間
養生期間③	2ヵ月		1ヵ月

材料・養生期間（後期）

材料	密粒度（13）ストレート アスファルト	密粒度（20）ストレートア スファルト	密粒度（20）改質アスファル トⅡ型
養生期間	1ヵ月（予定）		

（単位：mm）



供試体採取後の試験

- ・ホイールトラッキング試験：供試体上に小型のゴムの試験輪を繰り返し走行させ、単位時間当たりの変形量からアスファルト混合物の耐流動性を確認する試験
- ・レーザープロファイラによる測定：レーザーを利用して、施工後のグルーピングの断面形状を確認する試験
- ・きめ深さ試験：舗装路面の粗さの目安となるきめ深さを測定する試験

■ グルーピングの切削状況



グルーピング切削の様子



供試体採取の様子



切削後のグルーピング①

(改質アスファルトⅡ型, 2週間後)



切削後のグルーピング②

(改質アスファルトⅡ型, 2週間後)